

◆◆◆ 解答は、すべて解答用紙に書くこと。 ◆◆◆

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

ある新聞で「ぼっち席」という**aホウドウ**があった。聞き慣れない言葉だったので、思わず読んでしまった。京都大学の学生食堂で、テーブルに仕切りを設けて、人から見られないで、ひとりで飯が食えるようにしたところ、すこぶる好評であったのだという。

大きなテーブルでひとり飯を食うのは、**①まわりの人間から友達がいらないと思われるようで嫌だが、仕切りがあると、まわりの視線を気にせず、落ち着けるのだという。**ひとりぼっちで食べるから「ぼっち席」・・・(中略)・・・

この気分はわからないではないが、ここで必要以上に意識されているのは、〈人の目〉である。ランチと一緒に食べる友人がいらない、それが恥ずかしい。ランチメイト症候群ともそれは呼ばれるのだそうだが、ひとりでいることが本当に恥ずかしいのではなく、それを人に見られることが恥ずかしいのである。その〈人の目〉が、黙って、しかしひしひしと伝えてくるのは、「友達がいらない人間は駄目人間」なのだというメッセージであろう。

この意識は、若い世代には、先天形質として、どこか精神の深いところに刷り込まれているような気さえする。ひとりでいることの不安に耐えかねて、いつも友達と一緒に行動しようとする。

日本は長いあいだ、村社会であった。村社会では**bケツソク**しなければそれぞれが生きてゆけない。みんなと一緒に行動できない人間は村八分になり、村落共同体のなかでは、やっていけないくなる。

現在の子供たちの社会を見ていると、この村八分の意識が強く生き残っているのを感じざるを得ない。いじめの多くがそこに根を持ち、いじめは直接暴力という以上に、村八分的無視(シカト)によるものが多く、増加傾向にあるという。

いじめの問題にはここではこれ以上深入りしないが、そもそも**②友達と一緒にいることがあるべき姿であるという観念は、どこでc醸成されるもの**なのだろうか。小学校から、すでに仲間はずれが生み出されている。してみれば小学生がどこからそれを学習するのか。

おそらく親や先生が、ひとりでいるのは悪いことという方向へ無意識のうちに子供たちを導いてしまっているということがあるだろう。学校でも家庭でも、「いいお友達を作りましょうね」というメッセージが繰り返される。常時そんなメッセージに**d晒**され続けていると、友達を持てないことは自分に非があるからだと思い込み、自分を責める。いつも友達に囲まれている子が輝いていて、友達がいらない子はくすんでいる。そんな子がいじめの対象になる。

小中高と続いてきたこんな構図が大学にまで及んでいるとすれば、**e由々**しきことと思わざるを得ない。小学生や中学生に、ひとりになりなさいとは言えないが、大学生にもなつて、群れていなければ不安で仕方がないというのは、これまた異常である。そんな異常な状態の顕在化として「ぼっち席」があるのだとすれば、いよいよ学生に孤独になることの意味と価値をきちんと伝える必要がでてくるだろう。

1日のうち、ひとりでいる時間をどこかで確保すること、進んで孤独になる時間を確保すること。そんな誰からの干渉もない場所でのみ確認できる自分というものがある。人間は本来ひとりでいるものであり、たまに友達と一緒になるということのが基本なのだ。常に誰かと一緒に行動していなければ落ち着かないというのは、ついに自分という存在に正面から向き合うのを避けていることでもあるのだ。ひとりで自分と向き合うのが怖い。だから、いつも友達が横にいて欲しい。

ひとりで堂々と飯を食う。それが格好のいいものであると思える環境を作りたい。大学生に今さら一人になりましょうなどと教えることはばかげているが、孤独を知ることが自立ということであり、孤独のなかでしか自分が自分であることの確認はできないものなのだということは確認しておいてほしいと思う。

③孤独を恐れてはならない。

(『知の体力』永田和宏)

問一 二重傍線部 a～e のカタカナは漢字に直し、漢字はその読みを答えなさい。

問二 傍線部 ①なのは どうしてだと考えられるか。本文中の語句を用いて簡潔に答えなさい。

問三 本文から次の一文が抜けている。あるべき場所を空欄 I～III から選び、記号で答えなさい。

それができない子は「はみこ」などと呼ばれて、いじめの対象になったりもする。

問四 傍線部 ②が醸成された背景にはどんなものがあると筆者は考えているか。本文中の語句を用いてわかりやすくまとめなさい。

問五 傍線部 ③と筆者が主張するのはなぜか。その理由を「～だから」に続く形で本文中の語句を抜き出して二つ答えなさい。

二次の空欄に適当な漢字を入れて四字熟語を完成させなさい。

(その二)

1 目秀麗

2 天 爛漫

3 門外 出

三次の1～3の慣用句・ことわざ・故事の()にあてはまる適当な言葉を漢字一字で答えなさい。

1 清() 併せ吞む

2 同じ() のむじな

3 ペンは() よりも強し

四次の語の反対語を、それぞれ後の語群から一つ選び、漢字で答えなさい。

1 採血

2 自生

3 些細

(語群) サイバイ イダイ テンネン シュツケツ ジュウダイ ユケツ

五 傍線部の例文における意味として最も適当なものを、①～⑤のうちから選び記号で答えなさい。

1 気の置けない友達がいるっていうのは幸せなことだな…。

①気分を害さず対応できる

②遠慮しないで気楽につきあえる

③落ち着いた気持ちで親しめる

④気を遣ってくつろぐことのない

⑤注意をめぐらし気配りのある

2 教授の本はおしなべて高い。

①ばかりで

②推し量って

③隠して

④総じて

⑤ひらたく言って

3 周囲に白眼視される人生にも慣れた。

①冷淡に扱われる

②一目置かれる

③特別にみられる

④軽視される

⑤注目される

六 次の文の「 」内の言葉を、正しい敬語に直しなさい。

1 部長、資料を「拝見され」ましたでしょうか。

2 先生に「もらった」ペンはとても気に入りました。

3 私の「おばあちゃん」が、明日伺いたいと申しております。